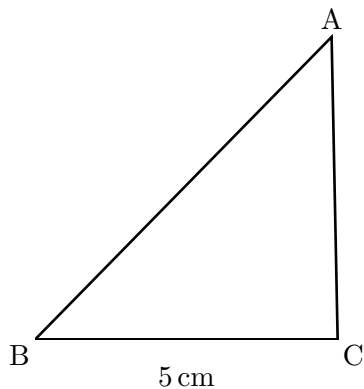


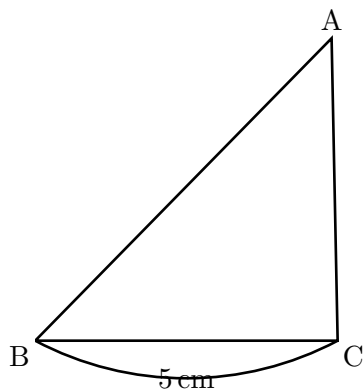
三角形を書いたその辺に長さを書きくわえよう。今回は失敗の例です。重要ですよ。



```
¥begin{pszahyou*}[ul=8mm](0,5)(0,6)…①
¥tenretu{B(0,0)sw;C(5,0)se}
¥CandC¥B{7}¥C{5}¥AA¥A
¥Put¥A[n]{A}
¥Takakkei{¥A¥B¥C}
¥HenKo<henkoH=3ex>¥B¥C{5¥,cm}…②
¥end{pszahyou*}
```

この場合、¥HenKo を使って、辺に長さを記入したのですが、よく問題についているここからここが 5 cm だよという記号が抜けています。これは pszahyou で画像をつくる際に、その画像領域が狭いために切れて表示されないのです。ですから、今回は y 軸方向の下の方の画像領域を広げる工夫をします。操作は簡単で、上の①の (0,6) を (-2,6) というように、¥HenKo が表示される領域を増やします。それでタイプセットしたのが以下の図です。ソースの途中に出てくる②の ¥, の記号は微小な空白をあけるコマンドですが、なくても問題はありませんよ。見た目の問題です。

上の問題を解決すべく、表示領域を広げいたのですが、失敗してしまったという例が次頁です。



```

\begin{pszahyou*} [ul=8mm] (0,5) (-2,6)
\tenretu{B(0,0)sw;C(5,0)se}
\CandC\B{7}\C{5}\AA\A
\Put\A[n]{A}
\Takakkei{\A\B\C}
\HenKo<henkoH=3ex>\B\C{5,cm}
\end{pszahyou*}

```

あらら、`\HenKo` でせっかく書いたのに、何やら表示がおかしいですね。これはタイプセットを1回しかしなかったためです。通常のタイプセットを2回行えばきちんと表示されます。これはあくまで僕が経験した失敗の例です。

今回のパッケージは

```
\usepackage{graphicx}
```

```
\usepackage{emathPs}
```

```
\usepackage{color}
```

です。ご参考に。`\HenKo` の使い方に関する詳細は、[emath Wiki](#) などからご覧ください。